

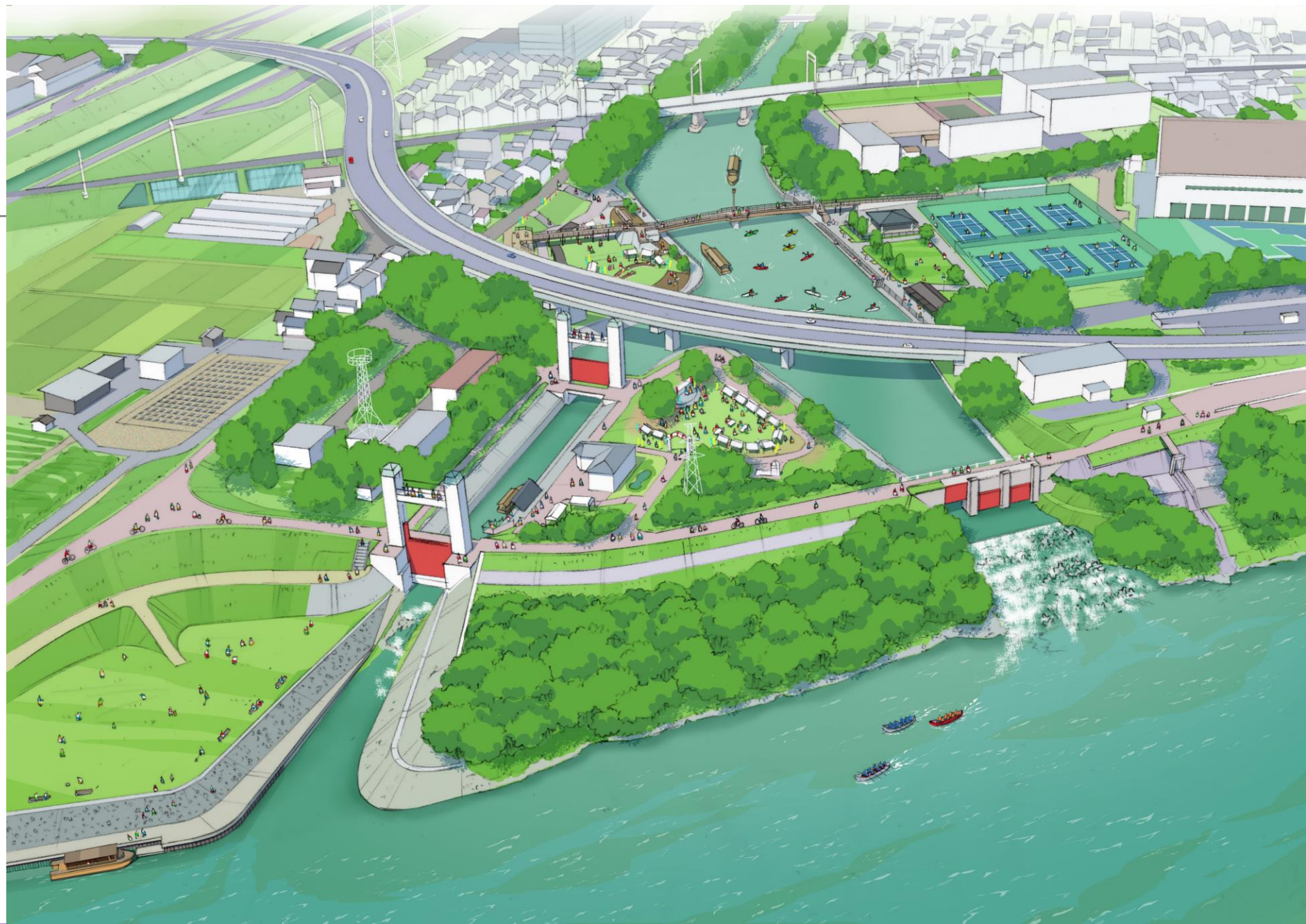
船着き場が誕生する 「伏見みなと広場」での 「賑わい×新たなビジネス」の トライアル

京都市伏見区役所地域力推進室



「伏見みなと広場」 と周辺の様子

※今後、にぎわい創出に係るニーズの状況や、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。





解決したい課題・実現したい未来

- 伏見港は令和3年4月に全国で唯一の「川のみなと（内陸河川港）」として「みなとオアシス」に登録され、伏見港周辺エリアの整備と賑わい創出などを推進している。
- 2025年大阪・関西万博に向けた淀川舟運復活の動きとも連携する形で、令和5年8月に水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組「かわまちづくり支援制度」に計画が登録され、船着き場の整備やにぎわい拠点の整備などにより、にぎわいエリアの形成を目指している。



実現したい未来
(あるべき姿)

船着き場の前がBBQ場やキャンプ場、スケートボードパークなど、多くの方が訪れる空間にしたい



現状

- 船着き場（予定地）に隣接する高水敷で、マルシェなどのイベント開催や水辺や自然に触れることの出来る取組の促進を目指しているが、現状は利活用についての目途がたっていない。
- 高水敷は更地となる予定
- 活用可能となる高水敷
 - ・ 広さ：約800m²
 - ・ 住所：京都市伏見区葭島金井戸町（宇治川沿岸の高水敷）
 - ・ 制限：建築物の設置は不可



伏見地区かわまちづくりの概要

事業実施の効果



事業実施の効果



事業実施の効果



○三栖閘門と三栖閘門資料館を、伏見港や水辺の魅力を伝える施設としてリニューアルする。

○伏見みなと公園広場(みなとオアシス取組エリア)でのイベント等を伏見みなと広場等(かわまちづくり取組エリア)に拡大して一体的に実施する。

○着岸可能な親水護岸の整備を行い、観光船の就航や水上アクティビティに活用する。





提案の自由度（想定する解決策）

- 賑わい創出に向けた民間事業者による収益事業のトライアル

（例）オープンカフェ、バーベキュー場、キャンプ場、キャンピングカーの宿泊施設、ドッグラン、ライブ・コンサート会場、水上アクティビティ、船上食事施設、川床など・・・

上記はあくまでもアイデアであり、これに限らない多種多様な幅広い活用提案をお待ちしております。

期間限定・短期間の試行利用や土地の一部活用、市場調査を兼ねた試験活用なども歓迎します！



企業側の想定メリット

- 既に定期運航している観光船
「伏見十石船・三十石舟」とも
連携した事業展開を目指すことが可能
- 周囲に所在する伏見の酒蔵をはじめ
とする観光資源の基礎情報が得られる
- 川を使ったまちづくりは広がってきて
おり、全国的にも横展開もノウハウ転用も可能と考える





行政によるサポート体制

サポート項目	状況	詳細
職員とのディスカッション可否 (オンライン・オフライン・両方・NO)	両方可	—
現場の視察可否	可能	—
提供可能なデータ・資料	あり	・ 周辺施設の利用実績 ・ 実証事業の実施にあたっては、河川管理者との調整を行政がバックアップする。
今後の展開想定	—	・ 大阪万博の開催を機に、「伏見みなと広場」に発着する淀川（及び宇治川）の観光船が新航路として展開される可能性がある。
他自治体との課題共通性（1－5）	3	・ 令和5年8月にの「かわまちづくり支援制度」への計画の登録に際しては、近畿で伏見以外に4箇所が登録（変更として1箇所登録）されている。